

岐阜県家庭教育学級実践事例

体験活動参加型+講演会型+子育てサロン型(中学校)

学 校 名 等	大垣市立江並中学校
実 施 日 時	令和7年12月3日(水)
会 場	大垣市立江並中学校 校舎2階 会議室
参 加 人 数	22名
学習課題(分野)	給食試食会(基本的な生活習慣)
運営者の願い	日頃子どもたちが行っている配膳や後片付けを実際に体験していただくことで、学校給食への理解をより一層深めていただくことを目的として計画した。 また、保護者同士の交流を促し、和やかな雰囲気の中で有意義な時間を過ごしていただきたいという思いも込めた。
学 習 の 内 容	

<目的>

- ・ 給食を味わいながら学校の食事や食育に触れる。
- ・ 調理工程や衛生管理についての講演を聞き、理解を深める。

<取組方法>

- ・ 給食は、役員がご飯とおかずをつけ分け、保護者の方はお盆とお箸を持って並び、順番にご飯とおかずを受け取る。
- ・ すべて受け取り終わった後は席に着き、全員がそろった段階で「いただきます」をして食事を開始する。
- ・ 食事が終わったら、決められた順番に従って食器やお盆を返却する。
- ・ その後、南部給食センターの先生に講演を行っていただく。

<取組の様子>

- ・ 子どもたちが日頃行っている配膳方法にできる限り沿いながら、注意事項を確認した上で配膳を行った。
- ・ おかずが残らないよう、量を調整しつつ均等に配ることを心がけた。
- ・ 先生からは普段あまり聞く機会のない内容のお話があり、皆さん熱心にメモを取りながら話に耳を傾けていた。



<保護者の感想>

- ・ 実際に配膳から体験してみて、普段子どもたちがどれほどテキパキと動いているのか身をもって知ることができました。
- ・ 給食1人分の量が想像していたより多く、驚きました。
- ・ 見た目以上にしっかりと栄養が考えられた量が提供されていることを知り、学校給食の大切さを改めて実感しました。
- ・ 給食では味付けを薄味にしていることを聞き、普段自分たちが食べている食事が、思っているより濃い味付けであることに気づかされました。



初めての取組

今回が初めての取り組みでしたが、参加者の皆さんが給食を味わって食べている様子が印象的でした。

給食は、量や味付け、栄養など、考えられて作られていることを初めて知った方もみえた。



好評な給食試食会

参加者からは「また参加したい」との声も寄せられ、好評だった。来年度も行えるようにしたい。